



陸北

七國志

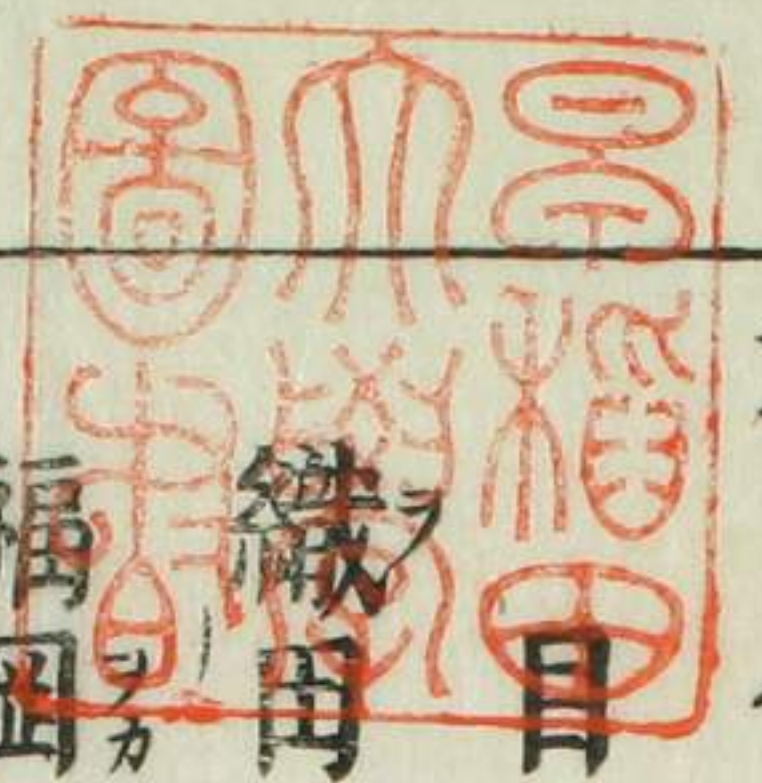
六

2861
6



13
2861
6

北國全太平記卷之第六



目錄

織田信長越國仕置事

福田石見守討死

附 八杉喜兵衛事

桂田長俊與富田長秀不快事

桂田長俊滅亡事

北庄合戦 并魚住景固父子被誅事

越前国一揆等蜂起事

越国所々合戦

明治二十二年
十月十八日
購

伊13
門
號
卷

附 毛屋增井等寂後事

帆山河原合戦

并 府中三門徒事

湊水合戦 并 長泉寺山軍

同 富田寂後事

府中放火

并 土橋式部太輔落塚寺事

北国全太平記卷之第六

洛下 後学 馬場信意輯録

織田信長越前仕置事

去程ニ織田信長ハ不月ニ朝倉ヲ誅戮シ忽越前御
手ニ入リシカバ因中ノ諸士神官僧侶朝倉同名
ノ者共ニ至ルマテ悉ク罪科赦免アリケル程ニ
吾先ニト礼ニ出甲斐ナキ命ヲ續ントテ所縁ニ
属シ降人ニ出テ肥馬ノ前ニ塵ヲ拂フ浅猿カリ
シコト共ナリ同キ二十四日元龜四年八月式部太輔景
鏡御礼ニ出ケレバ一家ノ總領義景ヲ討シ不覺
人ヲ見ヨヤトテ諸人手ヲ拍テ嘲哂ス信長如何

ナル思慮カアリケン。越国政道ノ儀ハ。重子テ守
 護ヲ指置ルベシトテ。前波九郎兵衛尉吉繼ヲ暫
 ク守護代トシテ。一乘谷朝倉居館ノ跡ニ指置ル。
 又北庄ノ朝倉土佐守景行カ宅ニ。津田九郎次郎
 木下助左衛門尉明智十兵衛尉ヲ三奉行トシテ
 居置レ。國中諸士ノ所領寺領等ニ至ルマテ。百石
 ニ兼金八兩ツノ。課役ヲカケテ取レケルガ。八
 兩トハ云ヘドモ。十兩ニ余ツテカケラル。去レ
 バ。富祐ノ者ハ希レナリシカハ。或ハ家内ノ雜具
 ヲ賣リ。或ハ縮布太刀ヲ立者ニ遺シ。東西ニ馳
 走シテ息スベキ様モナカリケリ。斯テ同キ二十

六日。信長府中ヲ立テ。江州北郡ニテ飯陣シ玉ヒ。
 同キ九月朔日。淡井備前守長政父子ヲ攻滅ボシ。
 江州モ悉ク御手ニ入リシカハ。淡井ノ居城ニ十
 二方石ノ所領ヲ相倭ヘ。木下藤吉秀吉ニ恩賜ア
 リ。同キ六月。濃州岐阜ニ飯陣シ玉ヒケリ。

福岡石見守討死 附八杉喜兵衛事

然ルニ去ル八月十六日。義景一乘ヲ没落ノトキ
 福岡石見守ヲ招キ。汝モ召具スベケレドモ。思フ
 子細アレハ。二人ノ女子ヲ預クベシ。如何ナラン
 山林ニモ隠シ置世静マリナハ。姉ヲハ尼トナシ。
 妹ヲハ摂州大坂本願寺ノ頭如方ヘ遺スベシ。子

息光壽号信乘院大僧正教如上人今ニ嫁スベシト。
兼テ誓約アル上ハヨモ否トハ申サレシ。汝此コ
トヲ違ヘスンハ草ノ陰苔ノ下マデモ其心底ヲ
忘ルベカラスト。泪ヲ袖ニカケテ宣ヘバ。福岡承
リ。某累代御恩ヲ厚ク蒙リナガラ。御前途ヲモ見
ガラシハ。勇士ノ本意ニ候ハスト。固ク辞退シタ
リシカドモ。吾ト一所ニ死センヨリハ。拔群ノ忠
タラント。再三強テ宣ヒシカバ。力及バズ二人ノ
姫君ヲ相具シ参ラセ。急ギ宿所ニ皈リケルガ。女
房ニ斯ト知サバ。吾モ共ニ連レ行トゾ云ンスラ
ン。人数多クシテハ。中々忍ビガタカラント思案
シテ

今日出テ巡リ逢スハ小車ノ中ニナレト知レ君
ト一首ノ歌ヲカキ置テ。二人ノ姫君ヲ馬ニ乗セ。
我身モ馬ニ打乗テ。中間二人従ヘ。豊原寺ヘト急
キケルガ。板藏村ノ邊ヲ耽ト見レバ。何トハ知ラ
ズ。二三十人計リ群リ居ル。石見守心元ナク思ヒ
ナガラ。馬ヲ静メテ行ク処ニ。大長刀ヲ打カタケ
タル男走り寄テ。是ハ誰人ニテ御入り候ゾト問
フ。福岡聞テ。是ハ屋形ノ姫君ニテ坐スガ。豊原寺
ヘ御供申スナリ。斯云フハ福岡石見守ゾ。路次ノ
警固シテ通シ参ラセヨト云フ。郷民共聞テ。扱ハ

福岡殿ニテ候カ。其人ナランニハ。得コソ通シ申
ス。レケレ。先年鳴鹿ノ村入ト。諍論ノコトアリ
シニ。御邊渠等カ。奏者シテ。其方人トナリ。非ヲ以
テ理トシ我々ヲ負サセラレツルナリ。如何ナル
時節モカナ。一礼申ント存ジツルニ。泰リ合フコ
ソ幸ナレ。此村ニ人ハナキカ。急キ出テ非道ノ男
ヲ討留ヨト呼ハツテ。先姫君ノ乗り玉ヘル馬ヲ
二疋ナガラ巳ガ家へ引入ル。係ル処へ村人共
走り集ツテ。百四五十人。喚キ叫ンテ切りカ、ル。
福岡今ハ遁レヌ処ゾト。中間ニ持セタル長刀ヲ。
ツツ取り大勢ノ中へ破テ入り。東西へカケ通り。

南北へ追廻シ。半時ハカリ戦ヒシガ。大勢ニ取リ
ユメラレ。終ニ討死ヲゾシタリケル。其ヨリ二人
ノ姫君ハ。寄へナキ身トナリ玉ヒケルガ。乳母ハ。
野尻治部左衛門ガ母ナリケルユへ。彼許ニ立寄
リ玉ヒ。其ヨリ本郷ノ山寺ニ暫ラク隠レ居玉ヒ
テ後加州へ越玉ヒケルヲ。河合ノ郷ノ八杉喜兵
衛ト云ヒシ者。妹君ヲ相具シテ。摂州大坂へ下リ。
本願寺へ渡シ参ラスル。是教如上人ノ御簾中ニシ
テ。後繁栄ヲ極メ玉ヒケリ。

桂田長俊與富田長秀不快事

去程二元龜四年八月下旬。年号改元アツテ。天正

元年ト号セラレ。同キ九月。信長。勢州長嶋ニ発向アリ。同キ十月下旬。濃州ニ飯陣シ。玉ヒケルニ。敵手シケク付慕ヒケレバ。越前ノ国ノ任人。富田弥六郎長秀カ。一族。毛屋猪之助ト云フ者。返シ合セテ。莫大ノ戦功ヲ抽デケレバ。定メテ恩賞厚ク蒙ラント思ヒ。今日カ明日カト待居タリ。然ルニ越前ノ守護代。前波九郎兵衛尉吉継ト。富田弥六長秀トハ。目比不快ナリケルガ。終ニ動乱ニ及ビケリ。其ユヘヲ委ク尋ヌレバ。毛屋猪之助ハ富田ガ下サレト云ヒ。與力ナリレカハ。此度ノ軍忠ノ賞ヲ下サルベキ由。執シ申シ賜ハルベシ。長秀操々

詞ヲズミシ。前波ヲ頼ク置ニケリ。係ル処ニ。同キ十一月中旬。信長朝臣河州若江ノ城主。三好元京太夫義次ヲ退治ノタメニ上洛アリ。河州ニ進發シ。玉ヒテ。忽義次ヲ攻滅ホサレ。同月下旬。京都ニ飯陣坐レケリ。此トキ朝倉式部。太輔義鏡同七郎。安居ノ朝倉孫三郎景健。同苗出雲守景盛。金津ノ溝江大炊助長逸。前波九郎兵衛尉吉継ヲ始メ。越前ノ諸士我モくと上洛シ。御礼ヲ申上ル。則式部。太輔ハ。朝倉ヲ改メテ土橋ト号シ。孫三郎景健ヲ。安居ニ改メラレ。前波九郎兵衛尉吉継ヲ。桂田ニ改メラレ。播磨守ニナサレ。長ノ字ヲ下サレテ。長後

トソ号シケル。皆々金銀卷物緋綿太刀刀等数ヲ
尽シ我劣ラレト献上ス。中ニモ桂田播磨守長俊
ハ。故朝倉義景ノ藏納諸關所ヲ玉ハリシユヘ。進
物目ヲ驚カセリ。コトニ上品ノ綿ヲイクバクト
云フ数ヲ知ラズ。十二間ノ遠侍ニ天井ヲセメテ
積上ダレバ。遠山ニ白雪ノ降り積リタルガコト
クナリ。長俊諸士ニ向ヒ。皆々御所望ニ從テ。御取
リ候ヘト云ヒケレバ。諸士我モくと取りケル程
ニ。後ニハ相争ヒテ。互ニ奪ヒ合ケルユヘ。相撲ノ
場ニ異ナラス。信長與ニ乘ジ玉ヒ。播州ガ智慮奇
特ナリト。御入與浅カラズ。席ヲ扣イテ御感称ナ

サレケル。斯テ式部太輔景鏡孫三郎景健ニハ本
領相違ナク下サル。魚住備後守景固ニハ。丹生
郡溝江大炊助ニハ。本領安堵ノ上ニ。朝倉土佐守
景行ガ所領ヲ恩賜アル。然ルニ桂田富田ト不快
ナリケルユヘ。毛屋ガ恩賞ノコトハ。曾テ詞ニ出
サス。却ツテ富田ガ心中何共心得ズ候。又毛屋増
井ガ知行モ過分ニ候ナント諷レケレバ。信長朝
臣聞シ召レ。長俊ガ申處尤ナリ。去ナカラ北庄ニ
指置處ノ。津田明智木下三人ノ者共ト相談シ。重
子テ様子ヲ見ハカラヒ。言上スベシト宣ヒテ三
奉行ノ方ヘモ。此旨奉書ヲゾナレ下サレケル。富

田孫六此コトヲ傳へ聞大ニ恨ミ憤リ如何ニモ
シテ桂田ヲ滅ボサント心中ニ思口立ニケリ。

桂田長俊滅亡事

斯テ同キ十二月下旬桂田播磨守長俊京都ヲ立
テ越前ニ飯国シケルガ路次ヨリ眼ヲ煩口出シ
ケレバ下著ノ以後モ津田明督木下等ト相談ス
ベキヤウモナク様々養性スル内ニ程ナク今年
モ月迫ニ及ビケルガ忽兩眼ヒレトツブレ月月
ノ光モ見へ分ザレバ只暗夜ニ燈ヲ失ヒシガコ
トクナリ此桂田ハ朝倉譜代ノ重臣ニテ前彼藤
右衛門尉景定ガ弟ナリケルガ先年江北表ニテ

織田方へ一番ニ馳参リケレハ其忠節ニヨツテ
越前ノ守護代ニナシ下サル去レバ昨日今日マ
テモ已レヨリ上座ニアリシ者共ヲモ家人ノゴ
トクニ會釈フ是ニヨツテ國中ノ諸士渠ガ詞ニ
カハランコトヲ望ミ昼夜門前ニ市ヲナセリ誠
ニ天運ニ叶ヘル人カナト諸人是ヲウラヤミシ
カドモ不忠不義ノ行跡ユへ忽神明ノ御罰ヲ蒙
レリト瓜彈キヲスル者多カリケリ茲ニ富田孫
六郎長秀ハ先年桂田ト同ジク織田家ニ降参シ
タリシカドモ長俊トハ様カハリテ何ノ恩賞モ
ナカリシカバ是ヲ恨ミ居ル処ニ如恩コソナカ

ラメ。結句所領ヲモ。桂田カ諺ニヨツテ滅セラル
ベキヤウニ聞ヘケレバ。此度毛屋ガ戦功ノ賞ヲ
望ムコトノ叶ハヌダニアルニ。某ガ采地サヘ減
セラレテ。耻辱ニアハンコソ口惜ケレ。是皆桂田
カナス処ナレバ。渠ヲ討滅ホシテ。日比ノ鬱憤ヲ
散スベシト。同意ノ者共ヲ相催ス。魚任備後守景
固。身羽左近次郎ヲ始メ。桂田カ奢ヲ究メ。諸士ヲ
アナトリ国民ヲ惱セ。雅意ニ任テ行跡ヲ疎ミ果テ。
朝倉家譜代ノ士。一揆ノ郷民原我モくと馳集ル。
弥六郎大ニ悦ビ。天正二年正月十八日。毛屋猪之
助。増井甚内。之助ヲ先陣トシテ。一揆等ヲ引卒シ。

桂田ガ居所。一乗谷ヘ推寄ル。下口ヘハ。志伊左。坂
北。本郷。聚三郷ノ一揆共ヲ指向テ。我身ハ上。口ヨ
リ押向フ。桂田少モ騷ガズ。上ノ木戸口ヘ馳出テ。
士卒ヲ下知シ。矢間クバリヲシテ。爰ヲ詮ト防ギ
タリ。桂田播磨守長俊駒打寄テ虎口ノ様ヲ問フ
ニ。小林ハ木戸ヨリ外ノ山際ニ。二百騎バカリニ
テ扣ヘタリ。長俊軍使ヲ馳テ。何トテ小林殿ハ其
ニ御入り候ゾ。柵ヨリ内ヘ。御入り候ヘト云ヒ送
レバ。小林聞テ。サン候某ハ。此所ニ備ヘテ。木戸ニ
付敵ヲ横矢ニ射候ハント返答ス。桂田聞テ。此儀
尤ナリ又下ノ木戸口ハ。小河黨其外寄合勢ナレ

バ。彼手モ亦覺束ナシトテ。馬ヲ引返ス処ニ。富田
ガ先鋒毛屋増井五六百人ニテ真先ニス、ミ。木
戸ヲ乗破リ。一同ニ咄ト攻入レバ。士卒等一支へ
モ支ヘズ。右往左往ニ敗北ス。哀レナルカナ長俊
心ハ剛ナリト云ヘドモ。目ハ見ヘズ。敵兵弓手ニ
アレバ妻手ヲ切り。南ヨリカ、レバ北ヲ打拂ヒ。
アキレ果テ居ル処ニ。敵多勢先後ヨリ取りツ、
ミ。馬ヨリ下ニ突落シ。首ヲ取テ指上ケタリ。桂田
玄番允。今ハ叶ハジト逃行ク処ヲ。柳ノ馬場ニテ
追ツメ。終ニ生捕テ首ヲ取ル。其余小河黨小林源
助以下。此間武息ニ誇リシ者共。悉ク討死ス。長俊

ガ母。女房。一子新七郎ハ後口ノ嶺ノ深雪ヲシノ
ギ。三方谷へ落行キケルヲ。翌日此所ノ一揆共ニ
三人ニテ。難ナク尋出シテ。三人共ニ指殺シケリ。
去レバ何者カシタリケン。

上モナク登リクテ半天ノ浦レバカクル月ノ桂田
ト一首ノ狂歌ヲ札ニ書テ。一乗谷。桂田ガ宿所ノ
跡ニゾ立タリケル。

北庄合戦 舟魚住景固父子被誅事

斯テ富田弥六郎長秀ハ。桂田ヲ討テ一戦ニ。日比
ノ憤リヲ散ジ。同キ二十一日。三奉行ノ居所。北庄
へ押寄テ。只一息ニ捫落サント攻立ル。津田九郎

次郎木下助左衛門尉明智十兵衛尉光秀。一揆原
が分際何程ノコトノアルベキゾ。防ケヤ者共ト
下知シテ。鉄炮ヲ散々ニ打出シケレバ。一旦攻ニ
ハナルマジキゾトテ。虎口ヲクツロケ引退ク。福
手ヨリ向ヒケル。朝倉三郎景胤同安居孫三郎景
健様々扱ヒヲ入レケレバ。和儀相調リ。津田。明智。
木下三人ノ者共ヲ。濃州ヘゾ送り飯シケル。富田
是ヨリ威ヲ囀中ニ震フコト。大風ノ草木ヲ靡ス
ガゴトシ去ニヨツテ浪人武者。又ハ郷民ノ溢レ
者共我モくと馳集ルコト夥タシ。係ル処ニ不思
議ノ悪事出来レリ。其ユヘヲ如何ニト尋ルニ。丹

生ノ領主魚住備後守景固ハ。朝倉家ノ重臣ト云
ヒ。殊ニ年ノ比ト云ヒ。国人モ怖レウヤマヒシカ
バ。富田渠ト心ヲ合セ。國中ヲ伐リ治メナバ。諸士
モ飯伏スベキニ。長秀如何ナル思慮カアリケン。
景固ヲ生置ナバ。行末ノ害トナリヌベシ。然リト
テ押寄テ討取リナバ。國中ノ騒キトナリヌベシ。
所詮方便リ寄テ討バヤト思ヒ。同キ二十四日ノ
朝。饗應ノ夕メ。魚住父子ヲ招キ寄。茶酒佳肴。数ヲ
尽シテモテナシケル。斯テ四方山ノ物語シテ。緩
々ト居ル処ニ。富田魚住ニ向ヒ。今般義景ノ秘藏
シ玉ヒシ。中村太刀ヲ得候ナリ。御目ニカケ候ヘ

此方へ御入候へトテ。奥ノ一間ニトモナヒシ
カハ。魚住是ヲ實トシ。奥ノ座席ニ入テ。既ニ座セ
ントスル処ヲ。弥六太刀ヲ拔魚住ガ細首ヲ打落
ス。景固ガ二男。魚住茂四郎。コハ方便ラレシトテ
刀ヲ拔。処ヲ是ヲモ同シク切り伏セケリ。長秀ハ
其ヨリモ。魚住ガ宿所。身羽ニ押寄せ。十重二十重
ニ取り巻テ。只平攻ニ攻ケル程ニ。景固ガ嫡子。茂
三郎ヲモ難ナク誅シ。家内ノ男女ヲ皆悉ク討取
リケリ。是ヨリシテ。国中ノ諸士。富田ニ心ヲユル
サズ。目サマシキ。莫ニ思ヒシカハ。孫三郎景健。出
雲守景盛モ。長秀ト茶會セズ。已ガ宿所ニ引籠リ。

用心シテソ居タリケル。愚カナルカナ。猛獸ハ走
ルトキ其角ヲ後ヘニカクシ。飢鷹ハ餅ヲ尋子テ
身ノ垢ヲ見ス。破国ノ敵ハ非道ヨリカナシキハ
ナシ。一ヲ害スレハ百民城郭ヲ去ト云ヘリ。富田
智アラハ先鋒ヲ縮メ武ヲ陰シテ。人ヲナツクベ
キ時ナルニ。思慮ナキ挙動ヲナセシカハ。国人等
心ヲ置テ。一味スル者ハ希レナリケリ。長秀一狐
ノカヲ以テ。国ヲ伐リ従ヘンコトハ。叶ヒガタシ
ト思ヒケレバ。内々信長朝臣ヨリ。越前ノ守護職
タルベキ旨。朱印ヲ賜ハリ。舍弟ヲ質トシテ。岐阜
へ遣シ置タリト。偽リヲ摘ヘテ。国民等ニ云ヒ聞

セケリ。

越前国一揆等蜂起事

然ルニ加賀越前ノ兩國ノ土民ハ往昔蓮如上人ヨリ以来專修專念ノ法ヲ信ジ本願寺一向宗ノ門徒ナリ又高田派トテ專修寺ノ念佛ヲ信ズル者共モ多カリシカドモ加州ハ富田ト本願寺ノ兩門徒宗論ヲシ出シテ本願寺門派ノ者共一揆ヲ起シ後土御門院ノ御宇足利義尚ノ治世長享二年国主富樫介ヲ追出シ卿民等国郡ヲ押領シテ是ヨリ本願寺ノ支配トナリ蓮如上人兼壽實如上人光無證如上人光教當時頭如上人光佐ニ

至ツテ院主四世年歴八十七年本願寺ノ分國トナリテ国民等心ノ一ニ舉動ヘリ是ニヨリテ越前ノ土民等モ武家ヲ国主ニ持テ手アラキ政法ニアハンヨリ一向坊主ヲ地頭ニシテ万事雅意ニ任せハヤト数年羨ミシコトナレバ時ヲ見合セ一揆ヲ起サント巧ミ居タル折ナルユヘ此度富田ガ桂田ヲ討テ一國ヲ押領セシヲ幸ト悦ビ國中ノ土民百姓等一揆ヲ起シテ詮議シケルハ當國ノ諸民ハ先祖代々朝倉英祿寺殿ヨリ義景ニ至ツテ五代ノ厚恩ヲウケタル者共ナリ然ルニ富田義景ノ重恩ヲ忘レ敵將信長ニ降参シ

當國ヲ押領セリ。不義不道ノ行跡天何ゾユルシ
玉フベキ。其上我々カ宗門ノ本寺。櫻洲大坂ノ新
門主教如上人ハ。正シク故義景ノ聲君ニテ。信長
ヲ敵ニ受^{ウケ}昼夜合戦ニ御心ヲ苦^{クル}シメ玉フ。然ルト
キハ。信長ハ我々ガタメニハ。怨敵タリ。法敵タリ。
其信長カ家人トナレル富田ヲ。我々ガ地頭ト仰
ガンコト。思々シク。未来ノ罪過ルベカラス。倡ヤ
弥六ヲ討取テ。當國ヲモ加州ノゴトク。本願寺ノ
御領國トナシテ。我々モ取得センハ如何ニト云
ヘハ。皆々是ニ同シ。忽一揆^{ホウキ}起シテ。急キ大将ヲ
下サルベシト。加州ヘゾ^ナ進シタリケル。其比加

州ニハ。頭如上人ヨリ。坊官下間筑後法橋杉浦壹
岐法橋ヲ守護代トシテ指置レケルガ。兩人大ニ
悦ビ。佛法繁昌ノ時節到来セリトテ。七里三川守
ト云フ者ヲ大将トシテ。越前ヘ指遣ハシ。跡ヨリ下
間杉浦モ。衆向スベシトゾ云ヒ送リケル。

越前所々合戦

附毛屋増井等寂後事

去程ニ同キ二月上旬。七里三川守。越前ニ衆向シ
テ。長崎ノ称念寺ニ陣ヲ取リ。其後豊原寺ヘ陣替
ス。此寺ハ古來澄法師開基ノ地ニシテ。八社ノ權
現ヲ勸請アリ坊舎一千ニ及ンテ。佛法繁昌ノ盛
場ナリ。然ル処ニ河合ノ八杉ト云ヘル者。一揆共

ノ大将シテ三川守ガ下知ヲモ受ス。同所ノ乙部
勘解由左衛門尉カ宿所ヲ取卷攻メケレバ。乙部
術計ツキテ。行方知ラス。逃亡ス。八杉頭テ入レ替
ツテ。彼所ニ居住セリ。同キ中旬西郡ノ一揆共朝
倉孫六ガ。三富ノ宿所ニ押寄テ。孫六ヲ誅戮ス。又
同ジ比河北ノ一揆等相集ツテ。黒坂與七カ。長崎
ノ城ヲ攻立ル。士卒等身命ヲ捨テ防ギ戦フト云
ヘドモ。目ニ余ル多勢ナレバ。氣ツカレカ屈シテ。
黒坂與七兄弟三人同。弥次右衛門同。兵庫助。小木
入道。田谷寺樂藏坊。歡喜坊以下。其日ノ暮程ニ悉
ク討死ス。一揆共悦ビ勇ンテ。勝鬨ヲ作り。討取ル

処ノ首共ヲ豊原寺ヘ持セ送り。大将三川守ガ實
檢ニ入ル。七里大ニ怒リ。何條某ガ下知ヲモ受ス。
一揆等ガ私トシテ。士ヲ殺スコト雅意ノ奉動言
語同断ノ次第ナリ。是某ヲ侮ルニアラスレテ。大
坂ノ御門主ヲ輕ンズルナリトテ。忽使者ヲ切害
シケレバ。誠ニ智勇備ハリタル大将ゾヤトテ。卿
民等是ヨリ怖レ敬ヒケリ。爰ニ又七里カ下知ニ
ヨツテ。一向宗門ノ坊主共。足南。足北。丹生。今立郡。
志伊ノ庄。大野郡。坂北。河口ノ一揆共ヲ引卒シ。富
田。弥六ヲ攻亡サンガタメ。二月上旬。北庄ニ出張
シケルガ。先ヅ富田カ股肱ト頼ミタル。増井甚内

カ。片山ノ真光寺ニ押寄テ。忽増井ヲ攻亡ホシ。同
キ十三日。朝倉土佐守景行ガ居城ノ跡。北庄ニ。毛
屋猪之助ガ居タリケルヲ。押寄テ攻ケレバ。毛屋
一戰ニ打負テ。終ニ討死シ。落城ニゾ及ビケル。

帆山河原合戦 兵府中三門徒事

去程ニ一向坊主土民共ハ。毛屋増井ヲ攻亡ホシ。
テ。其勢ヒニ乗ジ。富田カ居城ヲ攻ベシト。国中ノ
一揆等ト勝ジ合セ。翌十四日。府中近邊ニ發向シ
テ。在々所々ニ陣ヲ取ル。是ニヨツテ。上郡。新道。杣
山。葉原。鯖並ノ一揆共。相集ツテ二方余人。今庄。湯
尾。峠ニ支ヘタリ。西方ノ者共ニハ。八社。庄。織田。庄。

粟屋。本。卿。棗。三。卿。凡。三。方。五。千。余。人。鯖。江。大。虫。邊。ニ
抑ヘタリ。大野郡。北袋。南袋。足羽。河北ノ者共。本。覺
寺。専。修。寺。等ヲ。大將ニテ。其勢凡。五。方。余。人。先陣既
ニ。浅水ニ著ハ。後陣ハ未夕。北庄ニ支ヘタリ。加之
宅。良。三。尾ノ。河内。真柄。北村ノ一揆共。相集ルコト
三方三千余人。帆山河原ニ討出ル。去レバ。紙旗。延
ノ。ボリヲ。山野。一。片ニヒルガヘラセ。鉦。鐃。鉦。鉦。ナ
ンドノ。得物々々ヲ。提ゲ。群リ居タル。形勢。異形ニ
ゾ見ヘタリケル。富田。弥。六。郎。士。卒ニ。向ヒ。敵。假。令
大勢ナレバトテ。目ノ前ニ置ナガラ。徒ニ日ヲ送
ランコト。無念ナル次第ナリ。倡ヤ迎寄ニシテ。一

檜原ヲ討散サシ。戦ヒノ習ヒ。若打負ナバ、義ニ曝
セル屍ヲ九原ノ首ノ下ニ留ムベシト。又余儀ナ
ク申ケレバ。士卒等皆尤トゾ同ジケル。弥六大ニ
悦ビ。去ラバ打立ヨトテ。都合七百余騎ニテ。其日
ノ寅ノ尅。府中ヲ打立先。帆山河原ニ押ヘタル。三
万有余ノ敵中へ。面モ振ス突テ入り。西ヨリ東へ
カケ通り。北ヨリ南へ追ヒナビケ。一所ニ馬蹄ヲ
定メズシテ。須更ニ変化シ。馳散々々戦ヒシカハ。
一揆ノ勢戦ヒカ子。辟易シテゾ見ヘタリケル。日
既ニ夕陽ニ及ビケル処ニ。一揆等カ後陣ヨリ。見
崩レニ崩レ立ツ。富田カ勢是ヲ見テ。喚キ叫ンデ

攻カ、ル。宅良三尾ノ浪人武者共ヲ始メ。真柄北
村ノ一揆共。裏崩レニ氣ヲヲトシ。敵ノ勢ニ動轉
シ。諸隊悉ク崩レ立我レ先ニト落テ行ク。富田カ
勢氣ニ乗テ。勝鬨ヲ作りカケ。追カケク討程ニ。其
道二三里カ間ニシテ。二千七百有余ノ首ヲゾ得タ
リケル。此トキ富田思慮ヲ巡ラシ。府中ノ町人三
門徒ノ者共ニ。永代三千石ノ所領ヲ出スベシト。
一行ヲ遣シケレバ。鱗江ノ坊主三千余ニテ討立
横腰ノ坊主二千余人。府中ノ町人一千五百余人
ヲ相催シ。一統々々調へ合セテ馳来ル。富田大ニ
悦ビ。此勢ヲ令セテ。浅水ニ打出ル。

浅水合戦 長泉寺山軍 同 富田家後事

一、松ノ大将七里三川守。一戦ニ雌雄ヲ決セント。
四、隊ノ陣ヲ一所ニ集メ、敵遅シト扣ヘタリ。宅良
北村ノ一、松共ハ、帆山河原ノ敗軍ヲ無念ニ思ヒ
今ハ何ヲカ期スベキゾ。今一軍シテ、以前ノ耻辱
ヲ散スベシトゾ擬レタリケル。係ル処ニ同キ十
七日、富田弥六、浅水ニ打出ル。敵味方寄合テ、一、吉
関ヲ揚ル程コソアレ。入レ乱レテ相戦フ。去レハ
敵ニ射落サルレドモ、矢ヲ抜ニ隙ナク。組テ落テ
下ニナレドモ、落合テ助ノトスル者モナシ。只子
ハ親ヲ捨。即等ハ主ニ離レテ戦フ程ニ、汗馬ノ馳

違フ。吉鉄炮ノ音太刀ノ鐔音如何ナル。修羅ノ闘
評モ是ニハ過ジトゾ覚ヘタル。富田素ヨリ堅キ
ヲ破リ利ヲ碎ク。夏項王ノ勇ニモ過キ。樊噲ガ勢
ヒニモ超タリケレバ。四方ヲ拂テ八面ニ當リ。頃
尅ニ変化シテ。爰ニ顯ハレ彼ニカクレ。死生不知
ニ戦ヒシカバ。一、松等若干討レテ。蠅ヲ拂フガゴ
トク。右、往、左、往ニ逃行ケリ。爰ニ朝倉孫三郎景健
居。同、三、郎、景、胤ハ。一、松方ニテ。宗徒ト頼マレ居
タリケルガ。熊ト一軍ヲモセス。長泉寺ノ高山ニ
陣ヲ取り、味方ノ敗軍ニモ怖レス。静マリ返ツテ
備ヘタリ。弥六郎長秀去ル者ナレバ。葉武者共ニ

ハ目ヲカクヘカラストテ逃ル敵ヲバ追捨ニシ
テ。本ノ陣所ニ備ヘケルガ。夜討ヲカケテ討散サ
ント。長泉寺山へ押寄テ。真暮ニナツテ攻立ル。山
上ノ勢ハ思ヒ寄サル。夏ナレトモ。爰ヲ破ラレテ
ハ叶フニジト。鉄炮ヲ打カケク拒キ戦フ。朝倉方
ノ荒木兄弟モ。此トキニ討死ス。富田モイヤク此
敵ハアナドリ悪シト思ヒケレバ。其夜ハ引退テ
麓ニ陣シ。明ルヲ待テ翌十八日。又山上へ攻上ル。
然ル処ニ小林三郎次郎吉隆モ。跡ニツバイテ攻
上リケルガ。怒心ヲ変シ。後ロヨリ鉄炮ヲ兩射放
ツ。アヤミタズ富田ガ押付綿嚙ノハツレニ礮ト

中リ。グサト通レバ。馬ヨリ下へ真倒ニ二百ト落
ル。落ル処ヲ小林馬カケ寄テ。押ヘテ首ヲ掻落ス。
長秀今年二十四歳血氣盛シノ勇士ナリシカバ。
諸人情スト云フコトナシ。是ニ驚キ富田ガ勢小
林ガ勢ト入レ乱レ。相戦フ処ニ。山上ノ勢得タリ
賢コシト。一同ニ咄トカケ落セバ。富田カ勢一恠
へモ恠ヘス。十方ニ分レ落行ケリ。去レハ古ノ平
家ハ世ヲ取ルコト二十余年ト云ヘリ。今ノ長秀
ハ国ヲ領スルコト二十余今日誠ニ夢幼泡影ノ
浮世ノ中。蝸牛ノ角ノ上ニ何ゴトヲカ争ハン。石
火ノ光リノ中ニ此身ヲ寄トハ今コソ思ヒ知ラ

レタリ。其比如何ナル鳴呼ノ者カシタリケン。
桂田ト富田ニ友ノ諍ヒモ果ハカヤニテ多ク切ラレヌ
ト書テ。一首ノ狂歌ヲゾ立タリケル。斯テ國中ノ
一揆共。氣ニ乘リ勇ンテ。諸士ノ宿所へ押寄々々
攻亡ホス。是ニヨリテ國中ノ諸士。我身ノ上ニテ
ヤアルラント思ヒ。昼夜魂ヲ消シ胸ヲヒヤス有
様。今マデハ土民ヲ見ルコト雀ノ上ノ鷹ノゴト
クニコソアリシニ。今ハ猫ノ下ノ鼠ノゴトクニ
レテ。身ヲチバメテ色ヲモ立ス。早晚シカ百姓下
人等ハ。絞羅ヲ著テ肥馬ノ客トナリ。サバメカシ
テ道路ヲ過レバ。主人ハ中間僕従トナリテ。草鞋

ヲハキ。綴リヲ著テ。鑊ヲカタケ。糲米ヲ被キ。腰ヲ
カバメテ歩ミ行ク。目モ當ラレヌ氣色ナリ。去レ
バ賤キガ貴キ服ヲ著ル。是ヲ潜上ト云フ。潜上無
礼ハ国ノ凶賊ナリト。孔安国カ誠メヲ。知ラサリ
ケルコソ薄情ケレ。

府中放火 兵土橋式部大輔落塚寺事

去程ニ一向宗門ノ一揆共。府中ノ町小路神社佛閣
僧坊一宇モ残ラス。焼拂フ。其ヨリ鞍谷形部大輔
嗣知ヲ始メ。千福真柄北村瓜生千秋佐々布光林
坊以下。或ハ敵方へ内通スト号シ。或ハ別心ヒリ
ナント云ヒテ。一揆等押寄々々討滅ホシケレハ。

武士ハ云フニ及バス。祢宜神主一寺ノ住侶モ其所ノ道場坊主カ弟子門徒トナリテ。日夜朝暮參詣ス。ヲカシカリケル。復共ナリ。爰ニ又土橋式部太輔景鏡アキラ朝倉チクラハ。大野ノ堺寺ニ居住シタリケルガ。二月上旬。大野兵ニ中郡ノ一揆共。攻来ル由聞ヘシカバ。景鏡大ニ驚キ。コハ如何セント周章スル処ニ。即等共何地ヘカ行ケン。散々ニ落失シカバ。景鏡ハ暗夜ニ燈ヲ失ヒタル心地シテ。妻女ニ向ヒ。目比ハ縦ヒ思ヒノ外ニ此トコロヲ去ルコトアリトモ。何国マデモ伴ヒ申サントコソ思ヒツレドモ。敵東西ニ元テ候由。平泉寺へ落行ント

思立候ガ今ハ心安ク平泉寺マデハ落著ヌトモ覺ヘ侍ラズ。御身ハ女姓ナレバ。若シカルマシキゾ。子共ハ未ダ幼少ナレバ。敵假令見付ケタリトモ誰ガ子トモ知ルマジ。只今ノ程ニ夜ニ紛レ何方ヘモ恐ヒ出。世ノ中ノ静マル程ヲ待玉ヘ。道ノ間復ユヘナク。平泉寺へ落著ナバ。頓テ迎ヒニ人ヲ參ラスベシ。若又某討レヌト聞玉ハ。如何ナル人ニモ相馴テ子共ヲ人トナシ。僧法師ニモナシテ。我後世ヲトハセテタベト。泪ニクレテ云ヒケレバ。妻女景鏡ガ鎧ノ袖ヲヒカヘ。ナドヤ斯ウタテシキ。復ノ聞ヘ侍フゾ。雅者ヲ多ク引具シ

テ。知ラヌ邊^ホリニサスラハバ。誰カ落人ノ其方様
 ノ者ト。思ハヌ人ノ候ベキカ。敵ニサガシ出サレ
 テ。稚^ヲキ者ノ命ヲ失ンコソ悲シケレ。同ジ道ニ落
 行キテ。思ヒノ外ノコトアラバ。其所ニテハ兎^トモ
 角モナリ果候ヒナン。頼^タムカゲナキ木ノ下^モニ世
 ヲ秋風ノ露^{ツユ}ノ間モ。捨置シ棄ラセテハ。存^ナ命フベ
 キ心地モセズト泣悲ミケレバ。景鏡心ハ猛シト
 云ヘドモ。流^サ石岩木ナラ子バ。慕^シフ別レヲ捨カ子
 テ。妻女幼キ子共ヲ相具シテ。平泉寺ノ寶^{ホウ}光院ヲ
 頼^タミ僅二十人バカリニテ。夜更^フテ。倉^{クラ}ノ渡リヲ
 越平泉寺ニゾ落著キケル。北国全太平記卷之六終

